

冬から春へ

山川 欣彌

躓けど転ぶことなし屠蘇の酔い

休肝日三日坊主の温め酒

寒林にまだ散るものの残りおり

葉をすべて落とし寒月根元まで

寒の水飲みて胃の腑を確と知る



ものぐさの片付け下手の冬籠り

味噌汁と海苔とご飯と寒卵

校庭に立たされている雪達磨

連れ添うて湯豆腐揺れて五十年

ただ一つ男の料理木の芽和

